

## 【下町地区（3区）】新庁舎建設に関する地区との意見交換会 要旨

日 時 令和元年 10 月 27 日（日） 18:00～19:20  
場 所 下町児童館  
参加者 地区 11名  
町 7名（町長、副町長、政策担当部長、企画政策課長、財務課長、企画政策課職員2名）

### 概 要

1. 町長あいさつ
2. これまでの流れ 「広報にのみや」より（説明）
3. 意見交換

参加者	現庁舎の地震被害は、どの程度の調査をしたのか。震度ごとの被害や金額を調べてから補強か、新築かという話をしないといけないのに、その部分がない。また、建てるにしても、震度いくつのものに耐えられる建物にするのか。そのためにこのようなものが必要で、いくらするという話にならないと、ただこの金額で造りますということになっていて、話をしてもしょうがない。
事務局	神奈川県西部地震を想定し、震度 6~7 程度の地震がきたらどうなるかという想定です。
参加者	震度 6~7 というのは、関東大震災だといくつになるのか。
事務局	お手元のハザードマップにある、被害想定が神奈川県西部地震になっています。 そして耐震性についての数値（Is 値）が 0.3 未満であれば庁舎が倒壊、崩壊の危険性が高く、0.3~0.6 の間であれば倒壊、崩壊の危険性があり、0.6 以上であれば倒壊、崩壊の危険性が低いということになります。現庁舎の場合 3 階は 1.24 という非常に高い数値になりますが、2 階は 0.53 と 0.41、1 階は 0.42、0.42 と倒壊または崩壊する危険性があるという評価になります。 危険性があるということで、被災後に庁舎が使えなくなった場合を想定した業務継続計画(BCP)というものを作ってい

	<p>ます。災害対策本部機能は耐震済みの消防庁舎で行うと考えていますが、その他一般業務をどこで継続するかはできていません。熊本の庁舎が被災した市町の災害対策本部では、駐車場や体育館を使って対応していましたが、二宮町がこのような状況になった場合、罹災証明の発行や災害ゴミの処理等に時間が掛かりますし、職員全員が無事で復興業務にあたるのかもわかりません。</p> <p>現庁舎の耐震診断は平成 8 年に行い、その結果も分かっていますが、学校の耐震化やラディアンの建設で後回しになっていたのも、今取り組んでいます。</p> <p>耐震補強の場合、災害時に拠点となるものは 0.9 以上の数値 (Is 値) を求められますが、その数値を出すにも役場の形が悪く、柱と柱の間に壁を造らなくてはならないためスペースが狭くなり、町民センターに一部機能を移すこととなります。概算で費用を計算すると約 17 億 2 千万円掛かりますので、耐震補強と新しく建設するのに、財政的に大きな違いはないと考えています。</p>
参加者	新庁舎の場合は約 20 億円だが、その差 3 億円は大したことではないということか。
事務局	そうではなく、20 億円も 17 億円も概算で出しているのも、同程度の金額が掛かるのではないかと考えています。
参加者	概算ではなく、精査してからすればいいのではないかと。造り始めてから倍以上の金額になる等、よくあることだ。
事務局	基本設計をしないとレイアウトも決まらず、金額も確かなものにならないので、賛成反対の声が聞こえている状況です。
参加者	提案をするには、もっと精査してからではないのか。
事務局	町民の方々に提案するにあたってということですか。
参加者	町民がそのような話があるのかと聞いても、まだ精査中だから、精査中ですがこういうことをして賛成か反対かというのも、何をしても概算だと話をしてもしょうがない。
参加者(他者)	先程あった、設計費用の話の説明の方がいいのではないかと。
事務局	今、基本設計の前の段階である基本構想・基本計画の段階にいます。ラディアン裏に約 20 億円で 4,000 m <sup>2</sup> くらいの建物を建てたいので、基本的な設計に入りたいということを議会に話しているのですが、基本設計に入るのはまだ早いという判

	断を頂いている状況です。
参加者	基本設計をやるということは、建てるという前提があるから議会は反対しているのか。基本設計をするのに、何故反対するのか。
事務局	議員によって反対する理由は違いますが、町民に対する説明不足や、学校が統廃合になるなら余った学校を使えばいいのではないか、または全体の配置の姿を示さないといけない等の意見があります。
参加者(他者)	基本設計だけでいくら掛かるのか。
事務局	約 5,000 万円を想定しています。
参加者	だったら承認を貰い基本設計をしてから、それを進めるのかどうかの判断を町民に仰ぐのが普通ではないのか。
参加者(他者)	今日の説明もそうだが、建てる事を前提にした話だよな。
参加者(他者)	概算では分かるが、本当にその金額で済むかは分からないので精査しないとイケない。
参加者(他者)	議員がこう言っているではなく、説得をしなければならない。
参加者	それから小中学校が統合すると校舎が余るとのことだが、役場をそこに移転すると考えると校舎は耐震構造になっているのか。それならば、あとは中の細工を変えるということになるのか。
事務局	小学校の求められている耐震強度の数値は 0.7 ですが、全校舎を耐震工事し、その基準になるように終わらせました。
町長	庁舎にするには、0.9 になるように耐震強度を上げる必要があります。
事務局	庁舎問題があるから小中学校の統廃合をすぐに取りかかるということでもありませんし、仮に空いたとしても、概算ですが約 8~10 億円の改修費用が掛かる見込みです。
参加者(他者)	お金がたくさん掛かるから不安だ、というのが心理的にあるのが事実でしょうね。

参加者	国から補助金を受けるのに、令和 2 年度までに着手しないとイケないから、そのために急いでいるのか。
事務局	仮に 20 億円をどのように出していくのかという話になりますが、8 億円は貯金をしていき、12 億円を借り入れようとしています。市町村役場機能緊急保全事業債という、国が熊本地

	<p>震を受けて全ての市町村役場庁舎を耐震化させるための制度を特例的に設けました。これを使うと、後に 30%が交付税として町に入ってきます。金利を除いて考えると、年間 4,000 万円を返済していくところ、実際は 2,800 万円を返済していく仕組みです。ただし、これを使うには令和 2 年度中に、実施設計に着手しないとはいけません。</p> <p>実施設計というのは具体的な柱等の数や、それが一ついくらで、それら全てを積算するとこの金額になるという具体的なものです。これを使いたいので急いでいるように見えるのだと思います。</p>
--	--

参加者	これから台風の間隔が縮まりその強さも上がってくると言われているが、今までの二宮町は水害もほぼなかった。新庁舎が葛川に近い場所に建つといった場合に、水害に対する事業費を今より増やす必要があるのか。平成 29 年のハザードマップでは 0.5~1m の浸水想定があるが、本当にそれで済むと思っているのか。
町長	ハザードマップで 0.5~1m 未満の浸水が想定されているので、その部分は庁舎の嵩上げをする計画です。葛川の河川改修については県の整備計画ができましたので、実施計画に進んでもらえるよう働きかけます。
参加者	二宮町も被害に合うことを想定していかないといけない。町の大事な機能が大丈夫だと担保されていないと、心配だ。
参加者(他者)	嵩上げの工事費用は、20 億円に含まれているのか。
事務局	含まれています。

参加者	<p>本日は設計ができていて、金額も決まっています、それに対する意見交換会だと思っていた。</p> <p>水害についてだが、庁舎を嵩上げしたとしても、水が広がってしまったらそこに行く方法が分からない。生涯学習センターは避難場所になっているのか。</p>
事務局	違います。
参加者	そうであれば、なおさらその場所に建てるのが不思議だ。平常時はいいと思うが、水が出てしまったら職員はどうやって庁舎に向かうのか、町民はどう連絡するのか。電気が切れてしまったらどうするのか。

町 長	地震や水害の対策をとる場所ということで、基本的にはハザードマップというのは精度の高いものなので、それを想定した中での高さを確保したいと思います。電源等も含めて、対策を考えていきたいと思います。
参加者	職員はどうやって庁舎に行くのか。
町 長	葛川の改修がなされていない状況ですと、県道からは厳しい状況です。
参加者	土砂崩れもあるよね。
町 長	土砂災害警戒区域に入っています。
参加者	安全なところがないと言われてしまうと、どうしようもない。私はお金の問題がどうにかなるのであれば、建て直しには賛成だ。ただ 20 年後、30 年後も使うことを考えると、その間地形の問題でダメになるようなことにならないよう、良いものを建てて欲しいと思っている。
事務局	<p>県が想定した土砂災害警戒区域がありますが、今、更に上の特別警戒区域を作製しているところです。土砂災害警戒区域を県の方にどのように設定したのかを伺いましたら、地図上で角度が 30 度以上、5m 以上ある場所全てを黄色くしているそうです。ブロックが組まれていて、明らかに崩れないようなところも塗られています。これは少しでも住民の方に注意してもらいたく、全てに色付けしているとのことなので、実際には町中黄色だらけで、現庁舎の周囲も黄色に塗られています。</p> <p>特別警戒区域というのは、擁壁等の強度を全て調べた上で色を塗ると伺っていますので、赤くなった部分は避けなければなりません。今の建設予定地は地盤的には弱くありません。次の基本設計にボーリング調査も含まれているので、それを調べた上でしっかりしたものを建てたいと思います。</p>

参加者	何故、議員は賛成に回らないのか。
町 長	説明不足だったところもありますが、少子高齢化で人口も減っていく中、町が立ち行くのか不安があるようです。今まで受けていたサービスが削られるのではないかと、無くなるのではないかとというお声もありますが、やるべきサービスは地方交付税制度を生かしながら進めていきます。ただ、町独自の新たなサービスは難しいと思います。そういった漠然とした不安や、借金の返済方法の説明も当初、資料が十分でなかったと

	ころも至らなかったと思います。
--	-----------------

参加者	今でも国から交付税を貰っているが、その中でやり繰りするの。それとも今のままに加えて、庁舎を建てるだけのために新たにプラスαなのか。
事務局	純粹にプラスです。
参加者	これだけのためにか。
事務局	そうです。

参加者	多機能というのは、保健センターや教育委員会を一緒に入れるという意味なのか。
町長	集約化のため、一緒にしたいと考えています。ただ、ラディアンの一部を使わせていただくことを前提に建築面積を減らすことを考えています。

参加者	令和2年度までに実施設計の着手が必要とのことだが、なぜ令和2年度までなのか。
町長	今の国の制度がそうになっていて、町としては厳しい状況なので期限の延長を要望しています。
事務局	全国の市町村の28.4%が未耐震です。県内では二宮町、大磯町、湯河原町の3つです。
参加者	これは国が耐震化しなさいということで、令和2年度までに着手すればお金を出すから早くやれという意味か。
事務局	そういうことです。
参加者	これを利用しない手はないですね。
参加者(他者)	改修ではお金は出なくて、新築だから出るということか。
事務局	改修でも、耐震強度を0.9に引き上げることができれば対象になります。
参加者(他者)	現庁舎は形が変で、使い勝手悪いよね。
町長	長方形の建物であればもう少し効率よく耐震化ができますが、三角形なので中々上手くできない状況です。
事務局	壁で支えている構造ではなく、柱で支えている構造なので、柱と柱の間を強化しなくてはなりません。
参加者(他者)	高齢なので、今の役場前の坂道を登るのは大変だ。

参加者	地震と水害の話はされたが、津波のことは含まれていないのか。大きいものは来ないので、防げるという考えなのか。
事務局	津波に関しては、ハザードマップ上、かなり強いと思います。海の側であっても標高 20m 以上ありますので、梅沢川河口と押切のところは危険となっていますが、庁舎のところは心配していません。
参加者	葛川を遡ってくることはないか。
事務局	それも計算に含まれています。
事務局	中村川や梅沢川のところは、津波が上ってくることを踏まえているので、赤く色付けされています。
参加者	防災に関する声が大きくなってきているので、今のような説明ももっとしてもいいのではないかと思う。

参加者	概算ではなく、もう少し踏み込んだ見積りというのは実施するんだよね。耐震補強の見積りも概算だったので、精度を合わせて比較した上で深く検討しないといけない。
事務局	概算のお話で申し訳ありませんが、仮に現庁舎の補強の正確な数字を出そうとすると設計の委託を出さなくてはならず、その設計費用も大きな価格になるので、金額の比較の為だけにやるのか、やらないかは判断が難しいところです。
参加者(他者)	そこがいくら掛かるのか、まず精査するんだよ。
参加者	学校を耐震補強した時は、どのくらい掛かったのか。
事務局	今、手元にその資料がございません。
参加者(他者)	補強工事の費用もどのくらい掛かるのか精査が必要だと思うし、しないと町民はよく分からない。調査費用も精査できていないのはおかしいから、調査するにもこれくらいのお金が掛かります、本当に調査するのかと言われれば、町民としても意見が出やすい。
事務局	いわゆる、設計費用ですよ。調査自体は既に実施しております。
参加者(他者)	でも概算だよ。
事務局	概算といっても、建設のコンサルに頼んで耐震補強の価格を聞いています。
参加者(他者)	プロに頼んだから大丈夫ではなく、自分で見たのか。
事務局	簡単に示していますが、報告書があつての結果です。

参加者(他者)	それを見たのか。精査したのか。
事務局	その報告書の中は、精査しました。
参加者(他者)	それだったら、概算と言わなければいい。
町 長	すみません。
参加者	現庁舎の耐震の見積りには、耐震補強工事費と庁舎内の設備入れ替え費等も含んでいるんだよね。
事務局	入っています。
参加者	それで、どこの部分までを比較をするのか。新築した場合には、それらを全部含んでいるのか。
事務局	全て含んでいます。
参加者	設備や備品は換えなくてはいけないものなのか。補強だけだと、大した金額ではないよね。
町 長	空調も古く、故障してもそれを直す部品がない状況です。
参加者	いつ機器を入れたのか。
事務局	昭和 53 年、西暦 1978 年です。空調も重油のボイラーなので、ボイラー技師がいないと動かない状況です。
参加者	そういった設備については、日々メンテナンスをされているのか。比較が分かりにくいですが、補強だけなら 1 億数千万円、残りの 16 億円は設備費等だったので、その中に無くても済むものもあるのではないかと。
参加者(他者)	新しい物と、古い物を維持する比較があって当然だ。
参加者	建物の耐用年数というのは、40 年くらいのものなのか。
事務局	昭和 40 年~50 年ごろの建物の耐用年数は 50 年と言われていています。ただそれも、どこまでメンテナンスをするかで変わってきますが、基本は 50 年です。今のコンクリート構造の建物は 80 年~90 年と言われていています。
参加者	現庁舎の資産管理として、何年くらいをみているのか。
事務局	50 年でみえています。
参加者	あと 10 年か。もう一つ、そもそも現庁舎が機能しないから移したいという意向は当然入っているんだよね。最初に庁舎が手狭で分散していて役場機能を一か所にまとめて効率よくしたいという話があったと思うが、それが全く出てこない。現庁舎が耐震で賄えるのならずっと使えるのか。最初は現庁舎の機能が悪くて、効率良くしたいという中で、耐震の話が出てきて、これだけの金額が掛かるなら新しく造った方が皆の

	ためにいいのではないかと、そういう発想だったのではないか。
町長	その部分もちろんありますが、町民の利便性を高めるためであり、教育委員会も離れていて、保健センターも子どもの関係が分かれています。
参加者	町民の利便性の前に、役場の職員として移りたい意思があるんでしょ。
町長	職員の仕事がしにくいという理由だけではありません。やはり、町民の方の手間があるので、なるべく集約したいと考えています。
参加者	建て替えをするなら何をアピールしたいのか。ついお金の比較ばかり出てきてしまうが、そこを分かりやすく説明すればいい。議員もむやみに反対するだけではなく、いろいろ代案を出してくるでしょ、出してこないですか？町の議員はそんなものですか。
町長	出ないことも無いですが、財政的な質問が多いので、本日もそのお話ばかりをしてしまいました。利便性とは何か、町民にとって何がプラスになるのかのお話が少なくなってしまったところは、反省しています。

参加者	そもそも議会は意見の相互交換の場ではないのですか。一回だけ見に行ったことがあるのですが、議員の質問に町側が答えるだけで、いったい議員の意見をまとめるのはどこでやるのか。賛成か反対かだけではっきりわからない。
町長	それぞれ、議員にも立場や意見がありまして、議論をする場としては、委員会があります。
参加者(他者)	やはりお金が掛かる話については反対されるので、必要性という部分を強く出さないと、いつまでも結論が出ない形になりかねない。
参加者(他者)	普段から、町民の利便性を犠牲にしている面もあるからではないか。袖が浦プールを潰した事等があったから説明会があると、お金もないのに何でそんなことをするんだということになる。